

北海学園大学開発研究所 総合研究まちづくり研究会
札幌市・北海学園大学・北海商科大学 第2回政策研究会 2024

官民協働のデータづくりとまちづくり ～Halifax Index の取り組み

近年、政策立案の現場を中心に、地域運営において EBPM が求められています。その実施にあたっては、質の高いデータの整備はもとより、批判的な思考力を持って解決策を構築する力が求められます。また、地域運営にあたっては、未曾有の人口減少社会において、政府・自治体のみならず、企業、NPO、地域団体、市民が、主体的に関わることが求められています。それら多様な主体が共通認識に基づき地域課題の解決に取り組むためには、データの共有が重要な一つの手段となります。

札幌市でも人口減少社会に突入する中で、誰がどのように将来の方針を決め、地域を運営すべきか。政治学とカナダ研究を専門とし、人口減少社会における地域運営のあり方を研究する古地順一郎氏を迎え、カナダのハリファックス市の事例をもとに、札幌市における地域課題解決に資する仕組みづくりを検討します。



講演 & 意見交換

日時：3月25日(火)10時開始

場所：リモート配信

対象：札幌市職員、北海学園大学・
北海商科大学教職員・学生

主催：北海学園大学開発研究所
kaihatsu@hgu.jp (問合せ先)

講師略歴

古地 順一郎

北海道教育大学教育学部
国際地域学科 准教授

オタワ大学大学院政治学研究科博士課程修了(カナダ)。モントリオール市役所職員、ケベック大学モントリオール校ケベック・カナダ研究所研究員、外務省在カナダ日本国大使館専門調査員を経て現職。専門は政治学及びカナダ研究。